

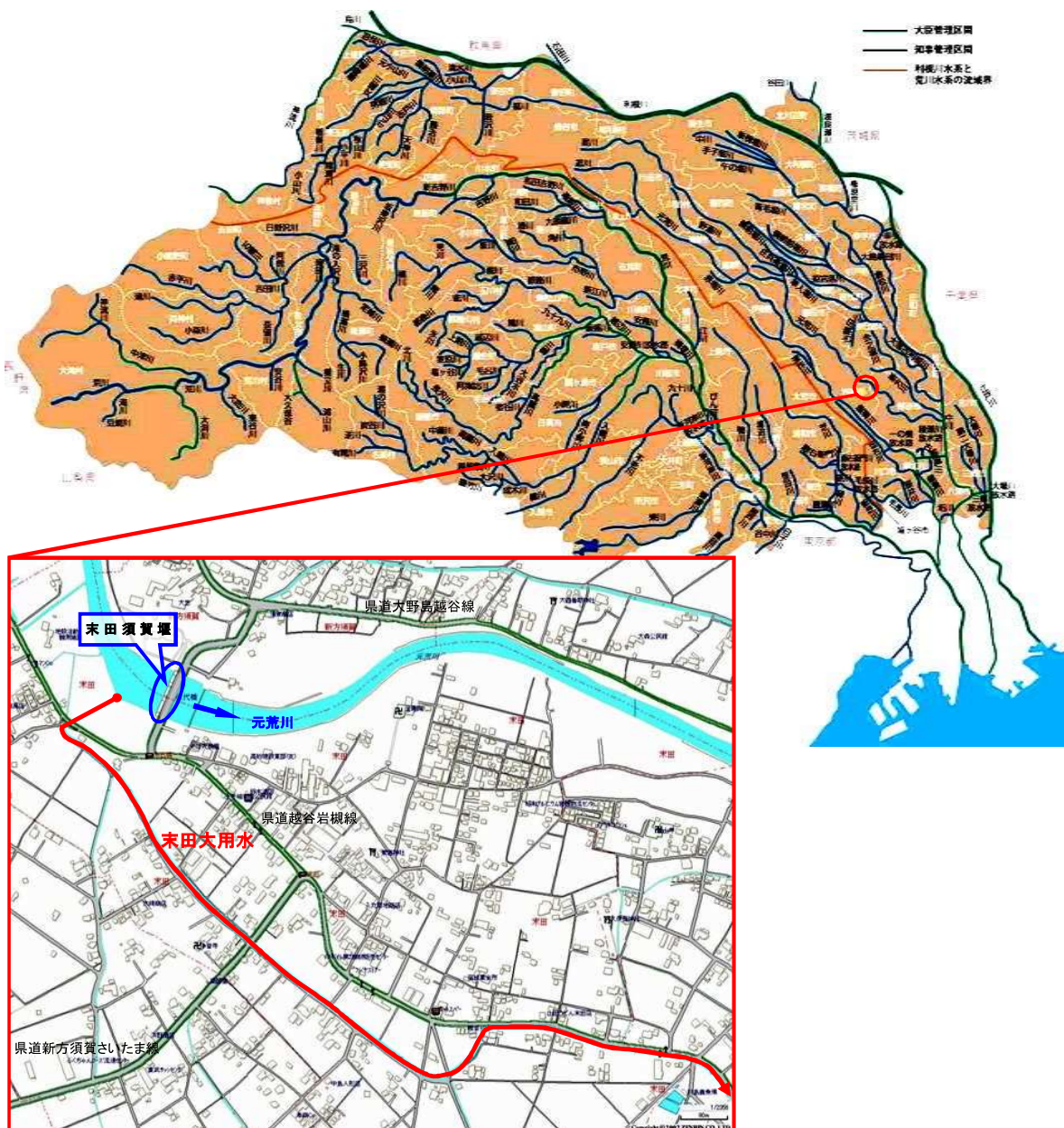
【 末 田 大 用 水 】

管 理 者	元荒川土地改良区	受益地域	さいたま市岩槻区・春日部市・越谷市
-------	----------	------	-------------------

用 水 の 変 遷

慶長年間(1596～1615)に形成された末田須賀溜井より、岩槻領や越谷領の用水として引かれていたと伝えられる。当時は縫竹で組まれた水流し場(竹洗流し)であったが、明治38年の末田須賀堰改築に次いで大正4年(1915)に元枋を煉瓦造り樋管に改築された。水路については、末田用水通り(岩槻市、越谷市の一部)に排水幹線がなかったため、用排兼用水路であった。そのため、耕地整理事業を実施(S8～10)し、用排分離整備を行った。その後、周辺地域での地盤沈下の著しい進行により、施設能力が低下し安定取水が困難となったため、県営地盤沈下対策事業末田用水(H8～14)、末田用水2期地区(H9～)を実施し取水口、水路等を全面改修し現在に至る。

用 水 位 置 図



用水施設写真

末田須賀堰



さいたま市岩槻区新方須賀地先

取水口



さいたま市岩槻区末田地先

取水口（吐口側）



さいたま市岩槻区末田地先

末田大用水



さいたま市岩槻区末田地先

末田大用水



さいたま市岩槻区末田地先



さいたま市岩槻区末田地先